第２学年　英語科　１年間の学習と評価について

春日部市立豊春中学校

１．学習目標

要点をまとめ、メモを見ながら発話することができる
電話、空港や道案内の場面で会話を続けることができる
旅行の計画を立て、紹介するスピーチができる
なりたい人物像についてのスピーチができる
１年間で得た「宝物」についてのスピーチができる

２．年間の授業計画と学習のねらい

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	Program1	・未来表現、接続詞 when、if の文を理解する。
	Steps	・メモを見ながら発話ができる
	Program2	・接続詞 that、must、have(has) to の文を理解する。
	Power-Up1	・天気予報を聞いて理解する。
	Power-Up2	・電話の表現を用いて会話する。
	Program3	・to＋動詞の原形(不定詞)、動詞の ing 形(動名詞)の文を理解し、言語の違いについて理解する。
	Steps	・スピーチの原稿を作成できる。
	Program4	・旅行の企画をし、プレゼンテーションを行う。
	Reading	・既習文を理解し、まとまりのある文を読む。
	Word Web	・形容詞を使って多くの文を作る。
2 学期	Program4	・比較球/最上級/as～as･･･の文を理解する。
	Program5	・how to～/look＋形容詞　become＋名詞(形容詞)/主語＋動詞＋人＋ものの文を理解する。
	Power-Up	・レストランでの注文場面での表現を用いて会話する。
	Program6	・受け身の文を理解し、スティービーワンダーについての英文を読んで理解することができる。
	Steps	・相づち、疑問詞を使った疑問文を使い、自分の好きな人物についてペアで会話を続けることができる。
3 学期	パフォーマンス活動	・なりたい人物像についてポスターを作成し、英語で説明することができる。
	Word Web	・位置を表す前置詞を使えるようにする。
	Program7	・現在完了(継続)現在完了進行形の文を理解する。
	Steps	・既習文を用いて、客観的な事実や具体的な理由を述べられる。who/which/that の文を理解する。
	パフォーマンス活動	・1年で得た「宝もの」についてスピーチができる。

3．評価の観点と方法

【知識・技能】

小テストや課題テスト、定期テスト、学力検査、ワークシート等で評価します。実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身につけている状況を評価します。

【思考・判断・表現】

ワークシート・小テスト・パフォーマンステスト・定期テスト・学力検査・リスニング問題等で評価します。既習の単語や英文の意味を正しく理解しているか、教科書や問題文など、まとまった内容の英文を正しく理解できているかが評価の観点になります。

学んだ単語や文章を用いて、伝えたい内容を表現することができるかが評価のポイントになります。

【主体的に学習に取り組む態度】

提出物、発言・行動、小テスト、レポート作成等で評価します。外国の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況を評価します。